

「ボランティアサポートプログラム」 について

「Volunteer.Support.Program」略して「VSP」

北海道開発局 建設部
道路維持課 維持第1係長

鹿内 俊文



1. はじめに

国土交通省では、地域の方々に道路をいつも気持ちよく使っていただくためには、道路の日常的な管理に地域住民の方々の参画が必要であるとの認識の下、国道の清掃や美化のボランティア活動を行っている住民グループ等に対しなんらかの支援をしようと平成12年度に「ボランティア・サポート・プログラム」を発足させました。

平成13年度は全国では約300、うち北海道では5箇所で開催されています。

北海道開発局では、国道の清掃や美化の活動を行っている住民グループ等、あるいはこれから活動しようと考えている住民グループ等に「VSP」の制度を有効活用し、ボランティア活動に役立ててもらえるよう、リーフレットの配布、北海道開発局ホームページへの掲載、シンポジウムでの紹介等のPR活動を行っています。

本紹介では「VSP」の概要と平成13年度の活動事例を紹介します。

2. 「VSP」とは

このプログラムは、道路を慈しみ、住んでいるところをきれいにしたいという自然な気持ちを形あるものにして考え出されたものです。

「実施団体」(ボランティア活動を行う住民グループ等)が、道路脇の簡単な清掃や美化活動を行うことを「協定」で確認し、その「協定」の内容に従って活動を実施します。その「実施団体」に対して、市町村及び北海道開発局が協力して作業用具の貸し出し・実施団体名入りのサインボードの設置及びゴミの処理等を支援し、地域の共有財産である道路への愛着心を深めます。

地域住民のみなさんが、道路の清掃や美化活動に参加することにより、地域の人たちの美化活動意識の向上・道路利用者のマナーの向上・参加団体の

コミュニケーションの広がり等が期待されます。

3. 基本要素と仕組み

国道を管理している北海道開発局が、住民グループや商店街などの「実施団体」と清掃や草木等の管理を行う活動について同意した内容を「協定」にして取り交わし、確認しあいます。



図-1 協力体制

4. 役割分担

- ・「実施団体(住民グループ等)」は歩道の清掃や草木の管理を行います。花壇等がある場合には、植込みや手入れをプログラムに加えることができます。道路構造を変えずに車道部分を除く歩道で安全に行える作業に限られます。
- ・「自治体(市町村)」はゴミの処理に関することと「実施団体」との連絡窓口としての協力を行います。
- ・「北海道開発局(各開発建設部、道路事務所等)」はサインボードの設置・清掃用具等の支給・安全指導・事務局(手続き等の受付窓口)を行います。

5. 活動までの手順

1) 問い合わせ・申し込み

事務局(各開発建設部の道路関係の事務所及び

事業所)において、「VSP」の受付を行っています。「VSP」の詳しい内容や、申し込みについてまずここに問い合わせをします。各事務局、市町村窓口、道の駅等に「VSP」の紹介リーフレットを置いてあります。



写真-1 リーフレット

2) 実施区域の決定・協定の締結

事務局において、申込者と活動内容や実施区域など具体的な内容について話し合いをし、活動の詳細を定めた確認書の取り交わしを行い協定書の締結を行います。

3) 協定が締結され活動が決まると、事務局で事前に話し合った内容でサインボードの設置や活動で使用する清掃用具等の貸し出し等を行います。

以上が申し込みから活動開始までの大まかな流れです。

6. 道内活動箇所

平成 13 年度北海道では 5 箇所「VSP」が実施されています。

路線名	地先名	実施団体名	担当開発建設部
一般国道 40 号	豊富町大通り	花 ² ネットワーク	稚内開発建設部
一般国道 237 号	旭川市神楽	旭川南商工会女性部他 3 団体	旭川開発建設部
一般国道 238 号	湧別町計呂地	湧別町計呂地自治会	網走開発建設部
一般国道 240 号	阿寒町旭町～北町	阿寒町花いっぱい運動推進委員会	釧路開発建設部
一般国道 333 号	丸瀬布町市街	丸瀬布町自治会連合会	網走開発建設部

7. 活動事例

ここでは、平成 12 年度に北海道で「VSP」第 1 号として、天塩郡豊富町の国道 40 号で活動が続いている「花²ネットワーク」について紹介します。

1) 実施団体の概要と特徴

「花²ネットワーク」は豊富町が平成元年から実施している「まちづくり海外研修」で花があふれている景観に感動し、研修参加者から「自分たちのまちでもできること」を「自分たちの力でやりたい」ということで組織された団体です。

平成 10 年度から道や町の補助を受けながら、市街地メインストリート等にプランターを設置していますが、補助金等の支援が終了しても「活動が継続出来

る対策」と「自らが参加している」という意識高揚のために年会費制として組織されています。花を育てることが町のイメージアップや住民相互の交流の場となり、まちの活性化の一役を担っています。

2) 活動の様子



写真-2 サインボードの設置



写真-4 歩道の清掃



写真-3 花壇の手入れ

8. おわりに

「VSP」は今後参加団体が増えていく傾向にあります。平成 14 年度内には平成 14 年 3 月末現在の 5 箇所から約 20 箇所以上になると予想されています。

手続きや活動報告等をもっと簡略化出来ないか、また、北海道の特徴でもある冬の歩道に関してのボランティア活動の可能性と同時に「VSP」として支援出来る内容かなど、今後に向けての改善や発展性の検討等々、まだまだ発育途中にあるプログラムです。

「VSP」の詳細については、ボランティア・サポート・プログラムハンドブック監修国土交通省道路局国道課、発行株式会社ぎょうせい、北海道開発局の VSP に関するホームページ

http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_doro/vsp/index.htm をご覧下さい。



写真-5 ハンドブック

今後さらに、「VSP」が積極的に活用されることにより、地域の人たちの美化意識の向上、道路利用者のマナーの向上、参加団体のコミュニケーションの広がり等が益々高まりますよう期待いたします。